指導課程

	学習内容及び学習活動	指導上の留意点と評価	資料・準備
意識化	1　本時の内容を知る。	・幼児のことばの特徴を知らせ，発達のしかたについて知らせ，関心をもたせる。	
		・自分の幼児期の課題（ワークシート）でことばについて思い出させる。	ワークシート
発見	2　前時の課題を発表する。 ＜幼児語の特徴＞	・生徒自身の幼児期のことばを，発表させることで幼児期の特徴に気付かせる。 例　ごはん→マンマ ねこ→ニャン，ニャン 車→ブッブー ＜発表＞	
	3　幼児のことばの特徴や発達段階，発達の原因について考える。	・例をあげながら語いの増加，文構成の変化，幼児語の特徴など発達段階があることに気づかせる。 例　散歩	
	＜語いの増加＞ ＜文構成の変化＞	ワンワン　一語文 ↓ ワンワン　キタ　二語文 ↓ ママ　ワンワン　キタヨ　三語文	ことばのカード
		・個人で幼児語を一つ選び設定場面を想定し発達段階を考え，まとめさせる。	ワークシート
		・個人のまとめたものを発表させる。	
追究	＜発達の原因＞	・発達の原因について，各グループごとに意見をまとめ発表させる。	
	4　グループごとに発達の原因を発表する。	・グループごとに発表する場を設けそれぞれの意見がだしやすくなるよう配慮する。	
		・発表の際には，助言や賞賛する。 ＜観察，発表＞	
	生徒の予想 （家族の会話，友達との遊び，絵本の読み聞かせ歌，テレビ等）	・ことばの発達の原因について確認させる。	
焦点化	5　本時の学習をふりかる。	・板書した事や発表した事をもとにワークシートに記入させる。	ワークシート
		・各自本時の学習内容を振り返りワークシートに記入させる。 ＜ワークシート＞	
	6　次時予告をする。	・次時の学習内容を知らせる。	